

放送ストリーミング情報収載

放送ストリーミング情報【2026No.400】(HP 収載)

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：モーリス・ラヴェル

曲名：ピアノ協奏曲ト長調

演奏：ラン・ラン（ピアノ）／パーヴォ・ヤルヴィ指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/56391>

2026年2月14日ベルリンフィル大ホールにおける演奏です。



P・ヤルヴィとラン・ランがラヴェルのピアノ協奏曲で共演

ラヴェルのピアノ協奏曲では、陽気な管楽器の音色、軽快なジャズのモチーフ、バスクの民謡などが、色とりどりに混ざり合っています。第2楽章は、夢見がちで瞑想的なピアノ独奏で始まり、この作品の真骨頂といえる部分です。スターピアニストのラン・ランは、この作品で彼の才能のあらゆる側面を引き出すことになるでしょう。後半ではパーヴォ・ヤルヴィがハンス・ロットの交響曲第1番を指揮します。この作品には、ロットの師であるブルックナーの影響と、同門のマーラーを彷彿とさせる響きを感じられます。

以上の他に下記が演奏されました。

フランツ・リスト 《コンソレーション》第2番ホ長調

ラン・ラン(ピアノ)

ハンス・ロット 交響曲第1番ホ長調

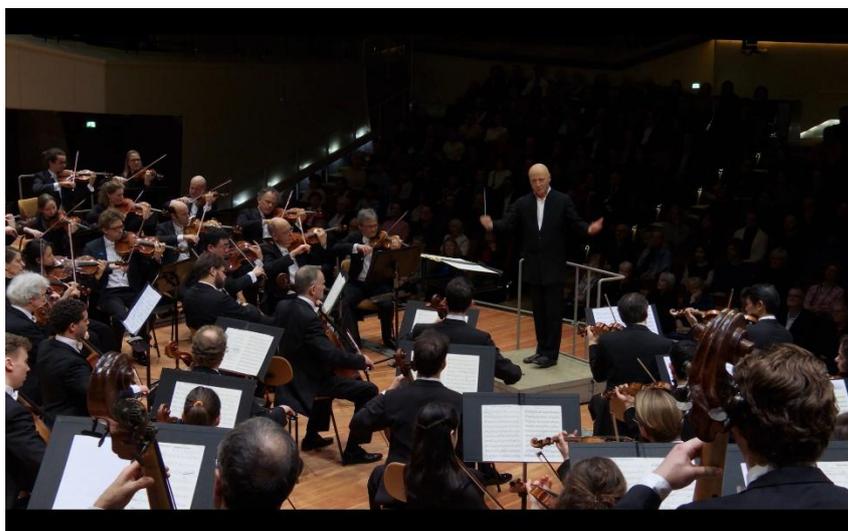
ラヴェルのピアノ協奏曲は、ラン・ランのピアノが、きらきらと輝くような色彩感で技巧的に奏でられ、どこかジャズを思わせるようなフレーズもあります。

リストの《コンソレーション》第2番は、アンコール曲で、静かな詩情を漂わせます。

ロットの交響曲第1番は、初めて聴くものですが、ブルックナーの交響曲を思わせるところもあり、またマーラーのような雄大な響きも感じられます。木管の質感や低音楽

器の明瞭さ、ブルックナーを思わせる重層的な厚みのある終章のくだりの再現も十分です。

今回は、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用し、ABS-7777 からのクロック入力の Brooklyn DAC+に送り出すようにした結果、煌びやかなラヴェル、静かなリスト、雄大なロットのそれぞれの表情を描き出していました。



以上